

# 第51回 水工学に関する夏期研修会

主催：公益社団法人 土木学会（担当：海岸工学委員会，水工学委員会）

後援：公益社団法人 土木学会 関東支部

期日：2015年8月24日(月)～25日(火)の2日間  
(A・Bコース並行開催)

場所：横浜国立大学 理工学部講義棟A  
202講義室，201講義室（横浜市保土ヶ谷区常盤台79-1）  
アクセスマップURL  
<http://www.ynu.ac.jp/access/index.html#ind-03>



本研修会は土木学会のCPD  
(継続教育)プログラムと  
して認定されています。

日程および講義題目・講師 (注) 講義題目には若干の変更がある場合があります

Aコース(河川・水文) [行事コードNo.235021]

Bコース(海岸・港湾) [行事コードNo.235022]

《総合テーマ》：「流域管理における防災と環境の  
対策技術」

《総合テーマ》：「沿岸域の防災と減災」

## ■ 8月24日(月)

## ■ 8月24日(月)

9:00～ 10:30	流域土砂管理における問題点と防災と環境 の両立 藤田正治 (京都大学・教授)	9:00～ 10:30	東日本大震災での港湾災害と港湾における 災害対策の展望と課題 宮本卓次郎 (横浜国立大学・特任教授)
10:45～ 12:15	豪雨災害による人的被害 牛山素行 (静岡大学・教授)	10:45～ 12:15	東日本大震災からの復興まちづくりと 防潮堤問題 平野勝也 (東北大学・准教授)
13:15～ 14:45	治水・利水・環境の観点からの流域一貫の 総合土砂・流木管理 角 哲也 (京都大学・教授)	13:15～ 14:45	防護施設の粘り強さ 有川太郎 (中央大学・教授)
15:00～ 16:30	河川水系における樹林化傾向・治水安全性 の統合的確率評価 宮本仁志 (芝浦工業大学・教授)	15:00～ 16:30	港湾・海岸構造物の維持管理の高度化に 向けて 横田 弘 (北海道大学・教授)

## ■ 8月25日(火)

## ■ 8月25日(火)

9:00～ 10:30	水防災・水環境に係るモニタリング・ モデリング技術の現状と今後の展開 二瓶泰雄 (東京理科大学・教授)	9:00～ 10:30	緩衝帯を用いた沿岸域の減災と生態系保全 の両立 清野聡子 (九州大学・准教授)
10:45～ 12:15	極端現象が与える流域生態系への影響評価 —降水現象の極端化に伴う流況変化等が河川生態系に与える影響に着目して— 傳田正利 (土木研究所・主任研究員)	10:45～ 12:15	沿岸域生態系を活かした震災復興 西村 修 (東北大学・教授)
13:15～ 14:45	河川・氾濫原の自然再生 —その技術と考え方 中村太士 (北海道大学・教授)	13:15～ 14:45	海岸行政の課題と海岸法の改正 眞田 仁 (国土交通省・港湾局 海岸・防災課長)
15:00～ 16:30	リスクマネジメントにおける環境と防災の 考え方 高木朗義 (岐阜大学・教授)	15:00～ 16:30	これまでとこれからの沿岸防災・減災 河田恵昭 (関西大学・教授)

定員：Aコース150名，Bコース150名

受講料：1コースにつき，一般16,000円，学生・院生10,000円(いずれも講義集代を含む)

申込方法：土木学会ホームページ：<http://www.jsce.or.jp/event/active/information.asp>

もしくは、FAX(学会誌巻末に掲載されている「本部行事参加申込用紙」)をご利用下さい

申込締切日：2015年8月17日(月)【必着】

締め切り日以降は，原則として行事当日会場にて受付致しますが，定員に達している  
場合がありますので，事前に下記へお問合わせ下さい

問合先：土木学会 研究事業課 TEL:03-3355-3559(担当:松沼)

備考：会場の詳細，講義の変更等の最新情報に関しては，下記ホームページでご確認ください

水工学委員会ホームページ <http://committees.jsce.or.jp/hydraulic/>

海岸工学委員会ホームページ <http://www.coastal.jp/ja/>